

薬学委員会 医療系薬学分科会（第24期・第3回）

日時：平成30年11月20日11:30～12:30

場所：日本学術会議6階 6-A会議室（1）

出席者（敬称略）：望月眞弓、伊藤美千穂、入江徹美、笠原忠、黒川洵子、小松かつ子、高倉喜信、高野幹久、堤康央、寺崎哲也、橋田充、南雅文、安原真人

- 議題
- （1）前回議事録案の承認について
 - （2）シンポジウムの運営・進行について
 - （3）今後の分科会としての活動方針について
 - （4）その他

議事録

☐議題（1）前回議事録案の承認について

- 前回議事録案（平成30年5月24日、薬学委員会 医療系薬学分科会（第24期・第2回））を承認した。

☐議題（2）シンポジウムの運営・進行について

- 当日朝より開催中の「ビッグデータの創薬と医薬品適正使用への活用に向けた提言」（主催：日本学術会議 薬学委員会 医療系薬学分科会、日本薬学会）について、入場者数は開始時点で100名超、昼休み前の時点で120名超であること、また順調な運営・進行であることが報告された。
- 入江実行委員長よりシンポジウムの概要の報告と開催協力への謝辞が述べられた。
 - ▶ プログラムの最後に予定されている総合討論ではグローバルな観点から今後の施策につながるような議論を展開したい旨が述べられた。

☐議題（3）今後の分科会としての活動方針について

- 寺崎分科会委員長より、本日のシンポジウム講演内容を学術会議叢書25として、先に開催された他のビッグデータに関するシンポジウム（「ITと創薬の融合」）の内容と合わせて出版する計画が進行中であることの説明があった。専門家による詳細な分析調査の結果をまとめたものとなり充実した内容であり、第24期前半の活動報告書として叢書25の出版をこれに充てることとしたいとの説明があり、了承された。
- 小松連携会員より、第24期後半の本分科会の活動方針について、合田連携会員を取りまとめ役としてレギュレーションに関する公開シンポジウムを2020年3月開催の薬学会年会（京都）時に開催するべく企画中であることが報告された。
 - ▶ シンポジウムタイトル案は「健康食品・保健機能食品・医薬品の品質保証に関する薬学的アプローチ」を考えている。
 - ▶ 各界より選んだ6名程度の講演者で構成する予定で、具体的な人選もほぼ終了している。
 - ▶ 全国国公立大学薬学部を対象に、本タイトルに関連した薬学教育について、アンケート調査を実施する。

- ▶ 公開シンポジウムの内容を報告書にまとめ、これを医療系薬学分科会からの報告書とすることを計画中である。

☐ 議題（４）その他

- 特になし。